

15 クロリティ

特徴 棒に入らなくても得点が取れる簡単な輪投げ。ルールも簡単であるが、ゲーム性に溢れている。

人数 1チーム1人・2人（競技）

場所 屋内

コート：幅91cm×長さ12.5m
ボードから3m、5m、7m、9mの位置から投げる

貸出用具

3セット

段ボール：高さ15cm×幅78cm×奥78cm

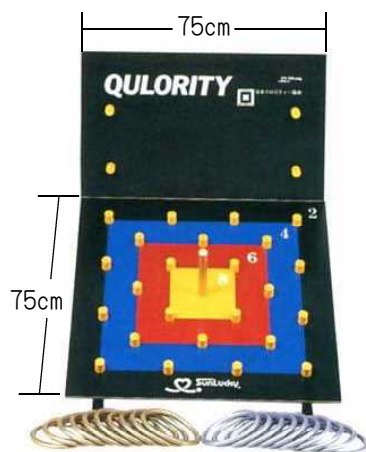


セット内容

まと1セット

リング20個 1つ200g

ご自分で簡単に組み立てられます



ルール

クロリティ

■競技方法

ジャンケンで投げ輪の順番を決め、審判の笛の合図でゲーム開始。シングルスは交互に1個ずつ、各々計10個のリングを片手で投げる。ダブルスは先攻・後攻チームが交互に各々計5個のリングを投げる。（チーム内も交互に）そこで前半とし得点を数え、リングを片付け後半を投げる。つまり各々計10投。ラインから足を出してはいけない（踏むのも）。投げたリングが静止するまでラインの前へ出てはいけない。シングルス一般（5m、7m、9mの30投）満点300点。シングルス子供・高齢者（3m、5mの20投）満点200点。ダブルス一般（5m、7m、9mの30投×2人）満点600点。ダブルス子供・高齢者（3m、5mの20投×2人）満点400点。勝敗は得点の総合計点で決める。同点の場合はセンターポールに入った数の多い方、それでも同点の場合はジャンケン。競技の場合は3セット及び1セットマッチプレーで行う。

■有効得点

※反則をしないで投げ輪し、次の条件を含むリングが半分以上かかっているエリアの点数。
（1）ボード上に単独である場合。（2）相手チームのリングの上に重なっている場合。3分の1以上重なった場合、下のリングは無得点。（3）センターポールにかかっている場合。

■反則

①審判の指示に従わないで勝手に投げ輪した場合。②投げ輪の順番を間違えた場合。③投げ輪時に足が出た場合。④両手でリングを投げた場合。⑤投げたリングが静止する前にラインよりも前に出た場合。⑥1度に2個以上のリングを投げた場合。反則によってボード上のリングに影響があった場合はゲームを中断し、速やかに原状に戻しゲームを再開する。